

RNN 海外在住メンバーを通じた ネパールの学校改築支援のお願い

RNN 事務局長 黒住 宗道

各位

この度は、6月17日のRNN定例会議に出席したサンガラトナ法典マナケ委員(パンニャ・メッタ・サंगा会長、インド在住でRNN創設以来のメンバー)の依頼を受け、標記のお願いしたくご連絡いたします。

パンニャ・メッタ・サंगाでは、食料品、テント、衣類、文具等を第一次支援として5月にインドから陸路(往復4500km)現地入りして運び、多くの場所を視察しました。今回の大地震では8,700人以上が死亡、50万戸の家屋、8,000以上の学校が倒壊、99,900人が通学不可能となっています。パンニャ・メッタ・サंगाは、首都カトマンズの北60キロに位置するシンドパルチョーク郡ボステイパ村を中心に支援活動を展開しており、家屋はもとより生活物資全般、寺院や学校といった心の拠り所、人間形成の場も失っています。もともと最貧困地域で、学校でさえ何年もかけてようやく完成させたものであり、その再建や修理はとてむすぐにできるような状態ではありません。

パンニャ・メッタ・サंगाの活動理念は、人を育てることであり、そのために必要な教育を提供しています。上記のように8,000以上の学校が倒壊し、その他多くの学校も亀裂が入るなどして使用できない状態にあります。そのため、10万人近い学生が通学できず、教育から遠ざかっています。パンニャ・メッタ・サंगाとして、1校でも多くの学校を建て直す、もしくは改築して一日も早く学生たちに教育環境を提供したいと考えています。

そこで、現地のマンジュシャ学校の改築を支援していただきたくお願い申し上げます。この学校はサッレリ町近郊のルラ村にあり、近隣5つの村から約100人の生徒が通学し、1年生から5年生までを教育する学校で、その改築に60万円を見込んでいます。

こういった、ネパールの現状や、学校の建設活動が明日のネパールを担う若人育成の大切な場となっていることをご理解いただき、ご支援をお願い申し上げます。

募金は下記のRNN郵便振替口座に送金をお願いします。集められた募金はRNNが責任をもってパンニャ・メッタ・サंगाに届けます。募金の領収書はRNNより各委員(教団・教会・寺院)名でお出しします。ご協力に際しては、通信欄に「ネパール学校改築」とご明記下さい。

以上

RNN 郵便振替口座

加入者名：RNN

口座番号：01310-9-63933